

平成19年11月26日

各 位

会 社 名 IMV株式会社

代表者名 代表取締役会長兼社長 小嶋 成夫
(JASDAQ・コード7760)

問合せ先 営業企画部長 秋吉 謙治
電話 06-6478-2575

振動試験の厳しさを定量化できる 蓄積疲労振動試験システム「K2 FATIGUE (ファティグ)」発売のお知らせ

動電式振動シミュレーションシステムで国内シェアトップのIMV株式会社(本社:大阪市西淀川区、代表取締役会長兼社長:小嶋 成夫)は、大阪府立産業技術総合研究所の中嶋隆勝主任研究員が提唱する蓄積疲労を用いた振動試験手法(特願 2003-424895)を採用することにより、振動試験の厳しさを定量化することで過剰試験や過小試験を防止する革新的な振動シミュレーションシステム「K2 FATIGUE」及び「K2 SPRINT FATIGUE」を発売いたしました。

記

■製品化の狙い

振動試験は試験条件を設定し実施しますが、その試験条件が適当でないと過剰な振動対策を実施してコストを掛け過ぎたり、逆に十分な対策がなされないまま製品を流通させてしまうといった様々なリスクが生じます。このシステムは、従来の振動試験が製品を固定している振動台が受けるストレスを監視する試験手法であるのに対し、梱包された製品が受けるストレスに着目することで、最適な試験を容易に行うことを目的としています。これにより輸送中の破損による追加コストを低減させ、社会的な損失を未然に防ぐことを期待しております。当社はこのような新しい振動試験手法を積極的に提案していくことで、振動試験業界全体の発展に貢献してまいります。

■蓄積疲労スペクトルとは

大阪府立産業技術総合研究所の中嶋隆勝主任研究員が提唱する概念です。S-N 曲線による疲労評価法(マイナー則)に基づき、疲労を振動数帯域ごとに独立して評価できる指標で、周波数に依存する疲労を正確に評価できるものです。

■主な特長

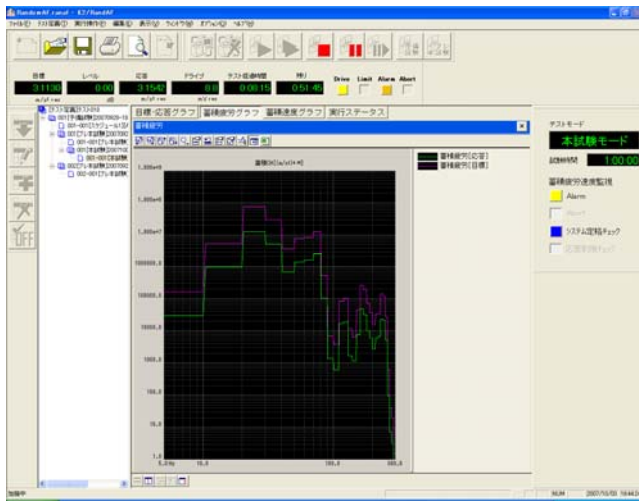
- ◆ ルートを設定するだけで輸送シナリオを自動生成でき、試験条件を容易に作成できます。
- ◆ 蓄積疲労スペクトルに基づき試験条件を作成するため、試験条件の導出根拠が明確になります。
- ◆ 輸送シナリオに応じた目標蓄積疲労が自動的に求められるので、専門知識がなくても試験を実施することができます。
- ◆ 試験中に製品が壊れた際には自動的に試験を中断するので、想定外のダメージから製品を守ります。
- ◆ 振動制御器のアプリケーションとして提供するので、現有システムに容易に追加導入可能です。
- ◆ 標準価格: 130万円 (K2 FATIGUE)、65万円 (K2 SPRINT FATIGUE)
※上記はソフトウェア単体としての価格です。輸送環境試験システムの一般的な価格帯は2千万円前後です。
- ◆ 販売予定日: 平成19年11月26日
- ◆ 販売予定台数: 20システム/年(初年度)

以上

(添付資料: 製品写真)

(添付資料：製品写真)

「K2 FATIGUE」画面写真



蓄積疲労振動試験システム概要図



振動シミュレーションシステムで振動制御器がK2あるいはK2sprintであれば、専用アプリケーションソフトウェアと蓄積疲労モニター用の加速度ピックアップ^{※1}を追加するだけで実施可能です。

※1: 一般の振動試験でモニター用として使用するピックアップを使用可能です。

輸送試験風景

